

Fukushima with a SMILE!

つながる東北



ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま
久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて
福島県の魅力を発信していきます。

Jan.2025 Vol.73

シンポジウムの様子を  YouTube にて **アーカイブ配信中** です!

復興へ向けた地域に根ざした取組を通して、**ふくしまの未来**を考えます。
皆さまの参加をお待ちしています。

ふくしま復興とSDGsを考える 県民シンポジウム2024

— 地域の魅力を見つめ直し、持続可能な社会へ —



福島県では、11月4日(月)に元NEWS ZEROのメインキャスターとしてもお馴染みの村尾信尚さんや気象キャスターネットワーク理事長の井田寛子さんなどをお招きし、「ふくしま復興とSDGsを考える県民シンポジウム」を開催しました。

当日は、地域に根ざして活躍される方々も御登壇し、「復興」と「SDGs」の観点から、それぞれの取組や今後の展望などについてお話しいただき、御参加の皆さんと一緒に福島の実現について考える良い機会となりました。

シンポジウムの様子はYouTubeにてアーカイブ配信中です。
右記のQRコードよりアクセスの上、是非感想をご覧ください!

こちらから
ご覧ください



<https://www.youtube.com/live/nVKYEk4Cju0>

参加した方々の感想

福島で活躍してらっしゃる方々の活動を知る事ができる良い機会でした。若い世代ももっと頑張って福島を盛り上げていけるようにしっかり「学ぶ」ことを大切にしていきたいです。

(10代/現地参加)

事例発表では、様々な切り口から福島やSDGsの課題に対する取組を知り自分に何ができるのか考えるきっかけとなりました。SDGsのブースもよかったです。

(20代/現地参加)

SDGsと復興、どちらも大きな取組みだけど、一人ひとりの熱意、自分事として考えて行動している良い事例を聴かせていただきありがとうございました。

(50代/オンライン参加)

東邦銀行若手行員 福島の“いま”を視察!

東日本大震災・原子力災害から13年が経過した福島の状態を知り、「復興への想い」を新たにするため、地元金融機関である株式会社東邦銀行は、福島県と連携し、若手行員による相双地域の企業等の視察を行いました。

東日本大震災・
原子力災害伝承館



～震災の教訓を未来へ～



佐藤 楓

展示された多くの資料のなかでも、原発ができた当時の学生の作文やポスターが特に印象的でした。「原発により雇用が増え、生活が豊かになる」といった、明るく希望に溢れた当時の言葉は、現在の私たちの認識とは大きく異なります。原発の危険性に対する意識が時代や環境により大きく変わること学びました。今回の研修を通して、復興に至るまでの歩みについて深く知るとともに、その教訓を未来に伝える重要性を再考する貴重な経験になりました。

震災遺構
浪江町立請戸小学校



～自分ごととして考える～



平 美咲

請戸小学校の第一印象は、広がる大地にポツンと残された小学校でした。校内を視察すると当時の様子がそのまま残されており、突然日常が変わった瞬間を知るとともに、テレビや写真では伝わらない津波の威力の恐ろしさを肌で感じる事ができました。また、震災当時は私も小学5年生だったため、自分に置き換えて考えさせられました。今回の視察を通して感じたい思いを大切に、今後も福島のために何ができるかを考えていきたいです。

有限会社柴栄水産



～地域を支える銀行員に～



渡邊 魁

漁港にそびえる巨大な建屋。目を見張るほどの大きな冷蔵庫。2011年、津波ですべてが流され、約9年もの間休業に追い込まれたとお話を伺った時は胸が締め付けられました。長い年月を経て、無事業を再開することができたのは、地元に対する強い想いと、社長や会長のお人柄があってこそだと思います。金融機関で勤務する者として、こうした外的要因で困っている方々を救う仕事ができるよう、日々精進していきます。

福島ロボット
テストフィールド



～世界に誇る研究拠点へ～



栗城 京惟

『福島イノベーション・コースト構想』を牽引する施設として産業基盤の構築が進められている光景や、現場で働く方々の熱意に強く感銘を受けました。被災地から最先端技術が誕生し、地域の事業活性化、雇用の創出が図られることで復興のスピードはさらに加速していくと確信しています。復興は依然道半ばではありますが、私も福島県民の一人として、金融サービスの面からその一翼を担っていきたく思います。



すべての皆様のために
東邦銀行



福島県



ペコ太郎

発行：ふくしま応援隊 株式会社久慈設計